


派遣報告書

平成 24 年 10 月 15 日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会

(代表) 議員

栢島 和江 

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1	派遣期間	平成 24 年 9 月 29 日 (土) から平成 24 年 9 月 30 日 (日) まで
2	派遣先	愛媛県新居浜市
3	視察 (調査) 議員名	栢島 和江
4	面会者	新居浜市長 池別 敏 講師 森 昭雄 氏
5	派遣目的	子どもの脳の発達と Y-11 脳の害についての研究
6	視察の経過及び感想	“全国お手玉遊戯大会” に参加する精神科医 日本大学大学院教授の特別記念講演会に参加 森 昭雄 氏 江本ジウムでのパネリスト。ユ-11 脳-9- の意見 をきいて、子どもの脳の発達と Y-11 脳の害 を発生させない様、予比視聴や Y-11 の禁止 を訴えられ、改善を為しお手玉遊戯大会が効果 がある。子どもの感性は体験させ自然と学ぶのが 大切である。創造性の開発はお手玉が最適。 全国お手玉遊戯大会 参加
7	添付書類	(1) 全国お手玉遊戯大会 参加 (2) 「Y-11 脳の恐怖」 講演 江本ジウム 写真 1 冊

要した経費： / 人合計 29,740 円

個人視察報告書

倉吉自民

桦島和江

日時 平成 24 年 9 月 29 日、30 日
目的地 愛媛県新居浜市、
視察、研修 新居浜市市制施行 75 周年記念事業、日本のお手玉の会設立 20 周年記念、全国お手玉遊び大会

- 1、 特別記念講演 講師 医学博士 日本大学大学院教授
森 昭雄

演題 「ゲーム脳はお手玉で改善できる」

- 2、 シンポジウム

「こどもの脳の発育と創造性の開発と『お手玉』」

パネリスト 5名 別紙のとおり

コーディネーター

日本こどもの発達研究所講師

岩城 敏之

- 3、 交流会参加

名刺交換、意見交換

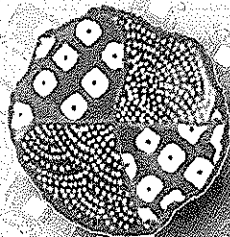
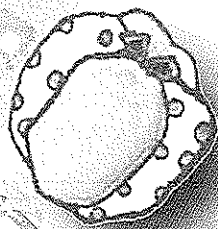
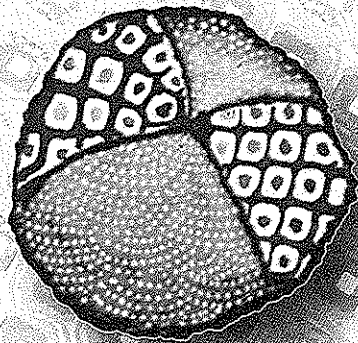
新居浜市市長ほか、市議会議員はすべて日本のお手玉の会の会員である。

視察により、参考にしたい事項

- 1、 子供の教育環境と生活環境を真剣に考えたい。
- 2、 伝承の文化で街づくりを実践している。
- 3、 新居浜市の長期総合計画の策定に取り入れる『お手玉あそび』。
- 4、 官民共同、企業、団体、個人の思いが、子育て、街づくりに及ぶ。

以上

「笑顔のきずな」温もりを届けて20年



2012 **9**月 **29**日 土

入場無料 特別記念講演会

時間：14:00～15:00

会場：リーガロイヤルホテル新居浜

●演題：ゲーム脳はお手玉で改善できる
～お手玉は脳を整え活性化する～

講師：医学博士・日本大学大学院教授 森 昭雄

入場無料 シンポジウム

時間：15:15～17:30

●テーマ/子どもの脳の発育と創造性の開発と『お手玉』

■パネリスト

医学博士・日本大学大学院教授 森 昭雄

白百合人形研究会主宰・日本人形作家 上妻悦子

教育学博士・鹿児島大学名誉教授 山本清洋

詩人・日本童謡協会副会長 宮中雲子

医学博士・愛媛労災病院名誉院長 伊藤雅治

■コーディネーター

日本子どもの発達研究所講師 岩城敏之

有料 交流会

時間：18:00～20:00

●テーマ/「笑顔の交流で友情の絆を深めよう」

2012 **9**月 **30**日 日

競技大会

個人戦競技・団体戦競技

時間：9:30～16:00

会場：リーガロイヤルホテル新居浜

●テーマ「笑顔のきずな」
温もりを届けて20年

見学入場無料

■主催

日本のお手玉の会・全国お手玉遊び大会実行委員会

■共催

新居浜市・新居浜市教育委員会・愛媛新聞社

日本のお手玉の会新居浜支部

■後援

総務省・文部科学省・厚生労働省・愛媛県

新居浜商工会議所・新居浜市観光協会

新居浜市社会福祉協議会・新居浜市保育協議会

新居浜市商店街連盟・新居浜市連合婦人会

新居浜青年会議所・新居浜商工会議所青年部

新居浜市倫理法人会・新居浜別子倫理法人会

新居浜市まちづくり協働オフィス

おもちゃ図書館しゃぼん

石鐘みず・コスモス・新居浜芸術文化市民の会

新居浜女性ビデオクラブ

NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛

FM愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ

パートナーネットワーク・四国中央テレビ（順不同）

お問い合わせ・申し込み先

日本のお手玉の会

TEL:0897-32-0302

FAX:0897-32-0311

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10番1号

<http://www.otedama.jp>

E-mail:honbu@otedama.jp

第17回 全国お手玉大会

新居浜市市制施行75周年記念事業・日本のお手玉の会設立20周年記念

愛媛・新居浜



■ 森 昭雄 (もり・あきお) さん

医学博士。日本大学教授および日本大学大学院教授。専門は脳神経科学。日本のお手玉の会新居浜支部顧問。北海道出身の生理学者。日本大学大学院を修了。これまでに、日本大学医学部講師、米国ロックフェラー大学研究員、カナダ・ウインズ大学客員教授などを経て現職。脳内の体性感覚野と運動野の神経回路、高齢者の認知症、情報機器が脳に及ぼす影響などの研究を行なっている。テレビゲームが脳の前頭前野の機能低下を引き起こすことを発見し、「ゲーム脳」と命名、社会に警鐘を鳴らした。平成 14 年に刊行された著書『ゲーム脳の恐怖』(日本放送出版協会)は、テレビゲームが脳に与える悪影響を説き、子を持つ親や教育関係者を中心に受け入れられ 35 万部を売り上げるベストセラーとなる。本書で提唱された「ゲーム脳」は流行語となった。ゲーム脳の効果的な改善方法として、お手玉遊びを提唱している。



■ 山本 清洋 (やまもと・きよひろ) さん

教育学博士。鹿児島大学名誉教授。遊びとレクリエーション研究所代表。「伝承遊びと創作遊び」を育てる会会長、日本のお手玉の会鹿児島お手玉の会会長。鹿児島県出身。熊本大学教育学部卒業。熊本 Y M C A に勤務。その後、東京教育大学(現筑波大学)大学院修士課程、カナダ ウォータール大学大学院博士課程を経て、岡山県立大学、東京都立大学、鹿児島大学の勤務を経て現職。社会活動：鹿児島県障害者自立交流センターでレクリエーションとスポーツ教室を担当。「トム・ソーヤの森で遊ぼう」「伝承遊びと創作遊びの会」で、「伝承遊びと創作遊びの指導者養成講座」を主宰。主な著書：『子どもとスポーツ～果敢なる警告～』、『いま、子ども社会でなにかおこっているのか』(日本子ども社会学会編・北王子書房)、『子どもとスポーツの意味解釈』(日本評論社)、『トムソーヤからの贈り物(1)・(2)』(玉川大学出版部)。



■ 伊藤 雅治 (いとう・まさはる) さん

医学博士。愛媛労災病院名誉院長。東城看護専門学校校長。日本のお手玉の会理事。大阪市出身。旧制中学卒業まで大阪に住み、戦時中は高等商船学校に在籍。家族は家屋疎開の対象となり、山口県に移住。山口県立医科大学(現山口大学医学部)卒業。海上自衛隊横須賀地区病院で外科医師として勤務。麻酔の必要性に鑑み、前後 2 回、慶応義塾大学医学部麻酔科に国内留学。米国バージニア州のポーツマス海軍病院麻酔科および胸部外科に留学。岐阜大学医学部助教授。岐阜県立病院麻酔科部長兼救急救命センター長。労働福祉事業団愛媛労災病院院長等歴任。平成 9 年、勲 4 等旭日小綬章を受章。平成 11 年、愛媛労災病院を定年退職し、現職となる。立体創作折り紙の達人。アルミ箔を使い、自分の足で立つ鳥類、動物、昆虫などを本物に近い形に仕上げ、患者さんの励みとしてプレゼントしている。全国お手玉遊び大会の会場で折り紙の展示と実演を行ない、子どもたちの人気を呼んでいる。



■ 上妻 悦子 (こうづま・えつこ) さん

人形作家、白百合人形研究会主宰。小松康城に師事。1000年の歴史を持つ『源氏物語』(瀬戸内寂聴著)の人形 15 体を製作。その作品は、現在、「源氏物語ミュージアム」(宇治市)に所蔵されている。鹿児島県出身。昭和 4 年、新宿総合学園講師、ヴォーグ学園講師。昭和 5 年、海外展に初出品。以後 13 回出品。昭和 6 2 年の第 1 回あーとらんだむ展から 15 回出品。平成 7 年、第 25 回日本手工芸展 25 周年記念特別賞。平成 8 年、第 26 回日本手工芸展手芸裁縫新聞賞。平成 11 年、アートネット・アカデミー展特別賞。海外展の入賞歴：エスラムス文化賞(ロッテルダム)。日墨協会会長賞・メキシコ国立図書館長賞。日豪芸術交流祭でパース芸術大賞(パース)。ウイーン国際美術栄誉賞。ロシア国立アカデミー最高幹部会賞。平成 23 年、イタリア・ローマ国立博物館に出品した『夏の宵』は、イタリア政府から「芸術大賞」を受賞。



■ 宮中 雲子 (みやなか・くもこ) さん

詩人。社団法人日本童謡協会副会長。日本のお手玉の会会長。本名・宮中ちどり。『宮中雲子』のペンネームは、サトウハチローの命名。愛媛県出身。東京学芸大学国語科卒業。大学在学中に、詩人・サトウハチローに師事。サトウハチロー主宰・童謡と抒情詩の月刊誌『木曜手帖』の会員になる。昭和 45 年、童謡集『木曜手帖』の同人となり、『七枚のトランプ』を出版。翌年、同作品により、日本童謡協会第 1 回童謡賞詩集賞を受賞。平成 8 年、社団法人日本童謡協会から第 8 回サトウハチロー賞を受賞。受賞を記念して詩集『どんな音がするでしょか』を出版。平成 10 年から、故郷愛媛で雲子の詩による合唱コンクール「宮中雲子音楽祭・日本の合唱コンクール」を継続開催している。



■ 岩城 敏之 (いわき・としゆき) さん

日本子ども発達研究所講師。読売新聞子育て応援団メンバー。活字文化推進会議講師。有限会社キッズいわき代表。日本のお手玉の会新居浜支部顧問。京都府出身。同志社大学経済学部卒業。8 年間、書店勤務。絵本とヨーロッパの玩具を研究後、昭和 62 年に「えほんとおもちゃのおもちゃ店ばふ」を開業。KBS テレビ「あむあむ 830」に、子ども文化コメンテーターとして 1 年半レギュラー出演。読売新聞子育て応援団メンバー(子育てコラムの連載と講演)、財団法人出版文化産業振興財団(JPIC)読み聞かせサポーター養成講師。子どもの遊びの環境や、玩具・絵本について、保育園・幼稚園・児童館などの職員研修や保護者向け講演の講師として、全国を飛び回っている。著書に『かしいおもちゃの与え方』、『子どもが落ち着ける 7 つのポイント』、『子育てのコツ(正・続)』(以上三学出版)など多数。兵庫県立「ひょうご・こども館」あそびの伝承師・研修講座講師

